



# 議員活動通信

日田市議会議員

なかしま章二



## 令和6年 第2回(6月) 定例会

### 令和6年度 6月補正予算概要

当初予算額	38,621,459 千円
現予算額	38,621,459 千円
今回の補正額	885,333 千円
補正後の予算額	39,506,792 千円

(参考) 令和5年度6月 補正後予算額  
38,209,534 千円

### 補正予算の概要

今回の補正予算は、令和6年度に住民税が新たに非課税となった世帯に対する10万円支給のほか、18歳以下の児童一人につき5万円の支給、定額減税しきれないと見込まれる方などに対する給付金の支給、高齢者等に対する新型コロナウイルスワクチン接種費用の負担軽減に係る費用の追加などを行うものとなりました。今回は歳入と歳出それぞれに8億8,533万3千円を追加し、補正後予算総額は39億5,067万9千2千円となっています。

### 令和6年度6月補正予算(第一号)



### 【歳出】

新型コロナウイルス  
ワクチン接種事業  
(1億3,916万1千円)

「65歳以上の方」と「60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害がある人」に対して、10月から1月の期間に年一回、日田市民は2,000円の自己負担で接種できるようにするものです。

住民税非課税世帯等に対する  
物価高騰重点支援給付金給付事業  
(1億1,174万5千円)

令和6年度に新たに「住民税が非課税になる世帯」や「均等割のみを課税される世帯」へ10万円を支給、さらにそれらの世帯にいる18歳以下の児童には児童一人につき5万円を支給するものです。

7月下旬に、該当する世帯へ「確認書」が発送されます。内容を確認して市へ提出いただきますと、8月中旬以降に順次支給される予定です。ただし、申請期限が令和6年10月31日までとなっています。







**林業・木材産業構造改革事業**  
(9,194万4千円)

カーボンニュートラル※1を見据え、森林・林業・木材産業によるグリーン成長※2の実現を目指し、木材需要に的確に対応できる安定的・持続可能な供給体制を構築することが必要です。そこで、地域の基幹産業である林業・木材産業を活性化するためにこの事業を実施します。具体的には、木材加工流通施設の整備」に対し、事業費の2分の1以内を補助して支援していきます。

※1カーボンニュートラル：二酸化炭素等の温室効果ガスの「排出量」を、様々な手段で「吸収」「除去」することで差しゼロにする仕組み。  
※2グリーン成長：経済的な成長を実現しながら、人々の暮らしを支える自然資源と自然環境の恵みを受け続けること。

天瀬町…（左）天瀬憩の家 （右）旧天瀬公民館



中津江村…（左）川辺体育館 （中央）旧なかつえ保育園 （右）旧農事センター



**公共施設等解体事業**  
(1,519万9千円)

今後、活用の見込みがない5施設（中津江村：川辺体育館、旧なかつえ保育園、旧農事センター、天瀬町：天瀬憩の家、旧天瀬公民館）について、解体に向けたアセスメント調査や解体工事設計を行う事業です。

**教育福祉委員会審査の状況**

**温泉施設利用事業**  
(434万1千円)

天瀬憩の家が、運営停止となった後、これまで施設を日常的に利用していた日田市の住民の方々に「温泉回数券」を利用してもらい、他の温泉施設でも天瀬憩の家の運営時と同額で入湯できるようにします。温泉回数券は日田市観光協会が販売し、この事業でその販売に係る経費を補助します。

委員会審査の中では、「天瀬憩の家をこれまで利用していた一部の人が、温泉回数券の購入対象者から、外される恐れがある」ことや「温泉回数券の購入に必要となる登録証の申請期間が7月5日から7月31日までと短いことから、申請漏れが起りかねない」との反対意見がありました。この意見に対しては執行部から「申請期間が過ぎた場合でも、例えば入院中であつた等、個々の状況を考慮して相談にのることを考えている」とい



う説明がありました。また、「天瀬憩の家の運営停止に対する代替措置であることは評価できる」といった賛成意見などが出されました。そして、採決の結果、審査の過程で出た次の要望を付し、多数をもって原案の通り可決しました。事業実施にあたっては、温泉回数券の購入には事前に登録証の申請が必要となることや、申請期間が限られている事などを利用者に十分に理解していただくように周知徹底することを強く要望しました。

## 6月議会 一般質問と答弁

## 教職員の働き方改革について



【中島】市内小中学校の教諭と養護教諭の配置不足はないか伺う。

【教育長】令和6年5月末時点で、市内小中学校3校で代替教員が3名不足している。

【中島】養護教諭の配置は市内の全小中学校に配置されているのか伺う。

【教育長】国県の配置基準によらないということでは、前津江中学校1校には配置されていない。



## 中島の視点

養護教諭、栄養教諭、事務職員についても配置の充実が求められています！

教職員の人員増による人員配置の充実  
は学びの質の向上につながるとともに、  
様々な教育課題に対応するためにも早急に  
改善する必要があります！

【中島】教職員の働き方改革が「安心安全な学校」につながることを考えれば、定数改善も必要かと思う。これを考慮した上で人的配置を国・県に強く要望していく考えがあるのか伺う。

【教育長】安心で安全な学校という観点からは養護教諭などの専門職の配置については強く要望していきたい。

学びの質の向上や多様な教育課題に対応するためには、持続可能な教職員の指導体制構築が急がれている。教職員定数改善等については、標準法の再改正と早期実現を求めて、文科省、総務省、財務省等に県教育委員会連合会を通じて要望している。市教委としても、今後も引き続き、県教育長会議等を通じて県教委への働きかけを続けていく。

【中島】若い世代が日田に住みたい、住み続けたいと思う日田づくりのために、日田市独自で行っている「複式学級解消教員配置事業」のような学校現場の人的支援体制構築の必要性について、市長と教育長の考えを伺う。

【市長】若い世代が住みたいと思うまちづくりのためには、子育てをする保護者が日田市の学校に通わせたいという思いを持ってもらうことが大変重要だと思っている。

今年度から、給食費の無償化やフリースクールの利用料を補助するなど経済的負担の軽減策を始めたが、引き続き教育委員会と連携して国・県に対して学校現場の処遇改善策の充実を市長としても働きかけるとともに、市としても学校に対する必要な支援に努めていきたい。

【教育長】安心して通わせることのできる学校づくりは、重要な要素の一つと考える。市教委としては、いろいろなスタッフを十分に活用し、組織的に教育活動に取り組む教職員集団に支えられた、安心して信頼される学校づくりを進めていきたい。

【中島】教職調整額の増額だけで、今回の働き方改革の議論が終わるのではないかと懸念している。調整額増だけで働き方改革につながると考えているのか教育長の考えを伺う。

【教育長】教職調整額の引き上げは専門職にふさわしい教師の処遇改善を実現するものと認識している。したがって、調整額増が単純に働き方改革につながるものとは考えていない。



## 中島の視点

教職員の働き方改革は、子どもたちの学びを守るために必要なものです。その実現のためには、給特法の廃止または抜本的見直しと、学習指導要領の内容精選、教職員の人員増による定数改善を早急に行うことが喫緊の課題と考えます。





# 合理的配慮の提供について

## 合理的配慮の提供の義務化とは？

障がいのある人も、ない人も互いにその人らしさを認め合いながら、ともに生きる共生社会を実現することを目指す中、令和3年に「障害者差別解消法」が改正され、事業者による障がいのある人への合理的配慮※の提供が義務化され、本年4月1日より施行されました。

※合理的配慮…障がいの有無に関係なく平等な社会生活を送れるよう、社会的な障壁を取り除くこと。

【中島】聴覚障がい者やその関係者、関係団体との意見交換会の中で出された意見や要望にどのように対応しているのか伺う。

【福祉保健部長】手話通訳者が不在の時でも窓口対応ができるようにしてほしいという要望に対して、令和4年度に一部の職員が簡単な手話の研修を受けたほか、一部窓口で指差しコミュニケーションボードの使用やホワイトボードでの筆談等を行っている。今後はこれらの取組を各課へ浸透させ、障がい者の方に不安を感じることなく来庁していただける体制づくりに取り組む。

【中島】市内の小中学校において、手話を必要とする児童生徒が在籍しているときに、学びの保障の観点から、学校に手話通訳者を配置することなどの支援策について伺う。

【教育長】聴覚障がいのある児童生徒を含む、特別な支援を必要とする児童生徒への支援策については、福祉保健部とも連携してどのような支援が可能か検討し、随時保護者の方の相談に応じていきたいと考えている。

## 中島の視点

社会的なバリアを取り除くために必要な対応について、障がいのある人やそのご家族と対話を重ね、ともに解決策を検討する「建設的対話」が重要です！

※今回、医療的ケア児への配慮についても質問を予定していましたが、時間が足りずできませんでした。改めて質問させていただきます。

## ■ 請願・意見書について ■

令和6年6月定例会において、市民クラブからの請願2件は、全会一致で採択されました。

●「2024年大分県最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書」提出の請願

●「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」提出の請願

★「小中学校の給食費無償化を国に求める意見書」は議員提案を行い採択しました。

## 国道386号「三郎丸橋」被災・復旧対応

被災した三郎丸橋の復旧計画について、7月11日に市執行部から現状説明を受けました。橋の復旧だけでなく、上下水道管の対策についても、県・国と協議しながら対策するよう要望しました。



今後の復旧計画（令和6年7月11日現在）

	R6年度								R7年度			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
測量・設計	← 測量・調査 →											
	← 詳細設計 →											
橋梁工事（予定）	↔ 橋脚補強		← 旧橋撤去 →						← 本復旧 →			
											完了	未定



発行：日田市議会議員 中島 章二

〒877-0006 大分県日田市港町 8-64 携帯電話 090-8412-9143

